

可動式ホーム柵の全駅整備を平成 32 年度までに完了します。

横浜高速鉄道は、安全・安定輸送を最優先とするため、平成 27 年 3 月より横浜駅で可動式ホーム柵を供用開始しておりますが、駅ホームにおける更なる安全性向上を図るため、平成 32 年度までにみなとみらい線全駅に可動式ホーム柵を整備することといたしましたのでお知らせいたします。

なお、平成 27 年 12 月発表の中期経営計画では可動式ホーム柵の整備時期を平成 30 年度～平成 33 年度としておりましたが、完了時期を 1 年前倒し実施いたします。

みなとみらい線沿線では、新高島駅周辺の街区開発の進ちよくや、馬車道駅周辺の横浜市新市庁舎整備計画ならびに北仲通北地区の開発など、多くのまちづくりが進行しています。また、日本大通り駅は東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の野球・ソフトボール会場となる横浜スタジアムの最寄駅の一つとして、一層多くのお客様をお迎えすることとなります。

今後、多くのお客様にみなとみらい線を安心してご利用いただけるよう、可動式ホーム柵を早期に整備し、横浜都心部を貫く路線として、より一層安全で利便性の高い交通サービスを提供してまいります。



イメージ図です

【事業概要】

- 事業時期 平成 28 年度～平成 32 年度
- 整備内容 可動式ホーム柵のみなとみらい線全駅への設置
※今回設置駅 新高島駅、みなとみらい駅、馬車道駅、日本大通り駅、元町・中華街駅